

## 田野有一名誉教授記念号の刊行によせて

学長 山 本 眞樹夫

田野有一名誉教授記念号の刊行にあたり、一言御挨拶申し上げます。

田野有一先生は昭和42年(1967年)に日本体育大学をご卒業され、帯広大谷短期大学に御奉職の後、昭和53年(1978年)10月に本学助教授として赴任されました。その後、平成2年(1990年)に教授に昇任され、平成20年(2008年)特任教授となられ本年4月退任されました。実に30余年にわたり、本学の教育研究、特に体育スポーツ教育の充実に多大な御貢献を頂きました。

本学は、小樽高商初代校長渡辺龍聖が「実学、語学及び品格」の育成をモットーに掲げ、品格の育成、渡辺校長のいう紳士教育の大きな柱として体育スポーツを奨励してきました。わが国でもいち早くスキー授業を行い、また昭和10年には当時全国でも珍しかった室内温水プールを新築するなど、先進的な体育教育を行ってきました。田野先生には、こうした本学体育教育の伝統を引き継ぎ、発展させて頂きました。本学の体育教育の目的が、品格の育成にあることを最も深く理解し、実践して頂いたと思います。

先生の御専門は体操ですが、特にわが国のトランポリン競技の普及と発展に大きな貢献をしております。日本トランポリン協会の理事等、トランポリン関係団体の要職を務めるとともに、本学のトランポリン競技部を全国有数の強豪に育て上げています。また、トランポリン競技の普及と発展に係る御研究も多いと聞いております。

先生のお人柄は、一本気で情熱的。一方でユーモアにも溢れ、学生教職員に慕われてきました。また、玄人並みの歌唱力の持ち主と聞いておりますが、残念ながら私自身はまだ先生の歌唱を聴いておりません。先生には御退任後も引き続き、本学の体育教育に御尽力を頂いており、機会があれば、定評ある歌唱力にも接してみたいと思っております。